

条幅部自由参考

6月25日正午必着

明石春浦先生書



施暢春風 (曹植)

仁徳が春風の如く一般に行きわたる。

明石幸子書



雨晴階下泉聲急

夜静松間月色遅 (王守仁)

ひと雨すぎて、きざはしの下の泉は音をたてて流れ、静かな夜、松林に月光はゆっくり移る。

青苔地上消殘暑  
 綠樹陰前逐晚涼

書

雨宮春聲先生書

青苔地上消殘暑、綠樹陰前逐晚涼（白居易）

青苔のしきつめたあたりには残暑も消えうせ、夕暮近く緑樹の蔭に涼を追う。

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

微風閑坐古松（李中）

微風古松に閑坐す

涼風ふきわたる老松の木蔭に、静かに腰をおろしている。

池畔好風驅暑去  
 松間明月逐人來（殷雲霄）

池畔の好風、暑を驅りて去り  
 松間の明月人を逐うて來る

池上を吹き渡る風は暑気をはらい除き、松間にのぼる明月は人について來る風情。

春喜友人至山舍（周賀）

春友人の山舍に至るを喜ぶ  
 鳥鳴いて春日晚れ喜び見る  
 竹門の開くを

鳥鳴春日晚  
 喜見竹門開

路自高岩出  
 人騎瘦馬來

路は高岩自り出で人は瘦馬に騎して來る

折花林影動  
 移石澗聲回

花を折れば林影動き石を移せば澗聲回る

更欲留深語  
 重城暮色催

更に留めて深語せんと欲すれば重城暮色催す

初夏の眞晝の野邊の青草に  
 そのかげおとし立てる榿の木（木下利玄）

半紙部規定課題A

6月25日正午必着

陽地  
満際  
朝

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

6月25日正午必着

行書

地際朝陽滿

隸書

地際朝陽滿

明石春浦先生書

草書

地際朝陽滿

行草書

地際朝陽滿

地上見わたすかぎり朝の日ざしが満ちわたり 空のはてに昨夜来の霧も消え去った  
風は残雪をまじえつつ吹き起り 河の水はくだけた水を浮べつつ流れる  
北方の宮門に心のすべてを捧げているが 南を指してなおも旅中の身の上  
高みに上って見はるかせば、もの思いははてしなく 憂愁の心を癒すところをどこに見出せよう

冬日野望

于良史

地際朝陽滿

天邊宿霧收

風兼殘雪起

河帶斷冰流

北闕馳心極

南圖尙旅游

登臨思不已

何處可消憂

冬日的野望

于良史

地際朝陽滿

天邊宿霧收

風は残雪を兼ねて起り

河は断水を帯びて流る

北闕心極を馳せ

南圖尙お旅游す

登臨して 思い已まず

何れの処にか 憂いを消す可き

不審先世化度云何尊者告  
日乃往過去波羅捺國有一仙  
山五百辟支佛止住其中時有  
彌猴日來供養奉觀儀容諸辟  
支佛後盡從去復有五百梵志  
續在中止諸梵志等或事日月

不審先世化度云何尊者告  
中止諸梵志等或事日月

日乃往過去波羅捺國有一仙

山五百辟支佛止住其中時有

彌猴日來供養奉觀儀容諸辟

支佛後盡從去復有五百梵志

續在



支佛後盡從去復有五百梵志 續在



支佛後盡從去

奈良 伝 聖しやうむてんのう 武天皇おホしやうむ・大聖武おホしやうむ（賢愚經けんぐまきよ）

古来、聖武天皇（七〇一〜七五六）の筆とされているが定かではないようである。賢者と愚者に関する比喩的な小話69篇を収めた一部13巻からなる経典である。

茶毘紙たびしと呼ばれる香木の粉末をすき込んだ料紙に書かれているが、表面のつぶつぶが、あたかも茶毘に附された骨粉のような感じがするため、信仰的伝説からこのように呼ばれている。

この書は、古筆手鑑こひつてかかみの巻頭を飾る名筆として伝えられており、墨量のある重厚で雄渾な筆致で、写経の中でも特に字粒が大きい。端正で気魄に満ちた書きぶりを学びたい。

※古筆手鑑：古人の名跡を切り取って幅に仕立て、帖に貼って鑑賞されるもの。（春濤）



しゅく ず  
縮 図

中学一年

雨宮春聲先生書



ふん すい  
噴 水

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



あま  
雨

ぐ  
具

小学五年

榎戸春龍先生書



ひょう  
評

か  
価

小学六年

藤井良泰先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



6月25日正午必着



まも  
守

る

小学三年

藤田幸春先生書



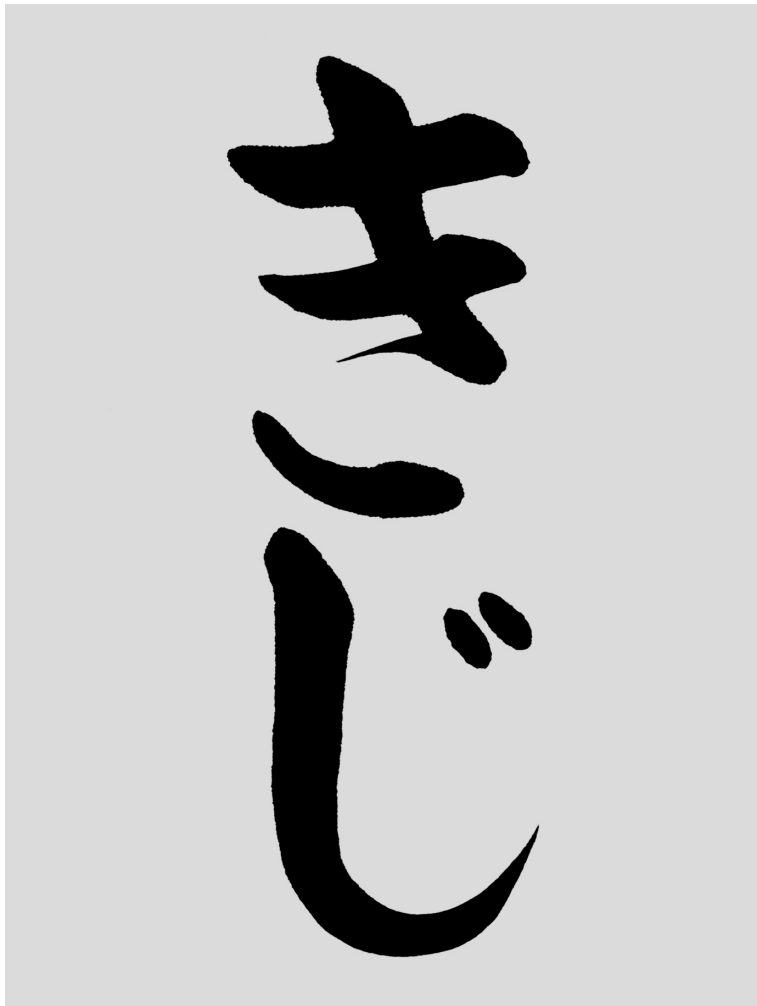
たか  
高

だい  
台

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

き じ 小学一年・幼年



森戸春濤書

やす 休み 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

か	初
と	夏
て	の
も	さわ
気	やかな
持	風
よい	

小学五年

行	近
で	い
き	う
る	ち
日	に
が	宇
来	宙
ま	を
す	旅

小学六年

く	水
夏	ふ
野	ん
かな	で
来	草
山	で
	足
	ふ

中学

に	深
浮	緑
か	に
ぶ	包
し	ま
ろ	れ
い	た
箱	湖
舟	畔

一般(級位)

ら	雨
は	そ
ら	く
す	ぐ
そ	花
ら	橘
ら	に
ら	風
ら	過
ら	ぎ
ら	て
ら	山
ら	ほ
ら	と
ら	ぎ
ら	す
ら	雲
ら	に
ら	鳴
ら	く
ら	な
ら	り
ら	(藤原俊成)

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。  
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

う	し
か	ろ
ん	い
で	
い	く
る	も
よ	が

幼年

あ	き
じ	れ
さ	い
い	に
の	さ
花	い
	た

小学一年

し	雨
だ	の
い	い
に	き
弱	お
ま	い
る	が

小学二年

つ	夏
み	が
が	近
は	づ
じ	く
ま	と
る	茶

小学三年

水	つ
位	ゆ
が	の
ふ	大
え	雨
ま	で
し	川
た	の

小学四年

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。  
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

春の  
 かぎりの  
 夕ぐれの  
 そら

春の  
 かぎりの  
 夕ぐれの  
 そら



岩本景楓先生書

ながむれば  
奈可盤  
 おもひやるべき  
毛遍支  
 かたぞなき  
可多曾那支  
 春のかぎりの  
可支利能  
 夕ぐれのそら  
 (式子内親王)